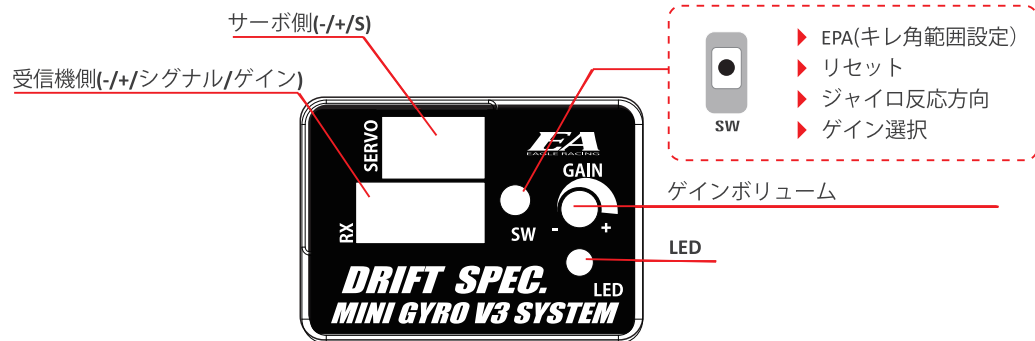


# MINI GYRO V3 USER MANUAL

## SPECIFICATION

- ▶ ケース材質 : AL6061
- ▶ 消費電力量 : 20mA/6V
- ▶ 重量 : 4g (ワイヤーを除く)
- ▶ 使用可能温度 : -10℃+50℃
- ▶ サイズ : 21\*15\*8.8mm
- ▶ コントローラー : PID システム
- ▶ 制御電圧 : 3.7 ~ 8.4V
- ▶ 入力シグナル : PWM (50-333Hz) / SANWA SHR; SSR / FUTABA S.BUS2
- ▶ デュアルゲイン調整 : ノーマルとAVCSモード
- ▶ 出力シグナル : 1520μs (50Hz/333Hz) / SANWA SSR
- ▶ 入出力コード : RXコネクタ

## 各部名称



## LEDステータス

LED	ステータス	ゲイン調整方法
早い赤点滅	初期化	/
早い赤点滅	シグナルが無い状態	/
赤点灯	ノーマルモード	3チャンネル目で調整
遅い赤点滅	ノーマルモード	ゲインボリュームで調整
紫点滅3回	ノーマル/AVCSモード切替	/
黄緑点滅3回	正転、逆転設定	/
紫点灯	AVCSモード	3チャンネル目で調整
遅い紫点滅	AVCSモード	ゲインボリュームで調整

## 押しボタンスイッチの説明

### ▶ EPA (キレ角範囲設定)

押しボタンスイッチを押した状態で受信機電源を入れ、白色LEDが点滅し、EPA(キレ角範囲設定)に入ります。送信機のステアリングを右に回して、サーボを必要な位置で停止させます。押しボタンスイッチを短く押すと、白色LEDが低速で3回点滅して、設定した右側キレ角が保存されLEDが白と黄緑色の点滅に変わります。

続けて、左方向のサーボキレ角範囲設定をします。送信機のステアリングを左に回して、サーボを必要な位置で停止させます。押しボタンスイッチを短く押すと、白色LEDが低速で3回点滅した後、赤色のLEDが高速で点滅し設定した左側キレ角が保存されます。その後ジャイロは自動的に初期化に入り、完了すると使用が可能です。

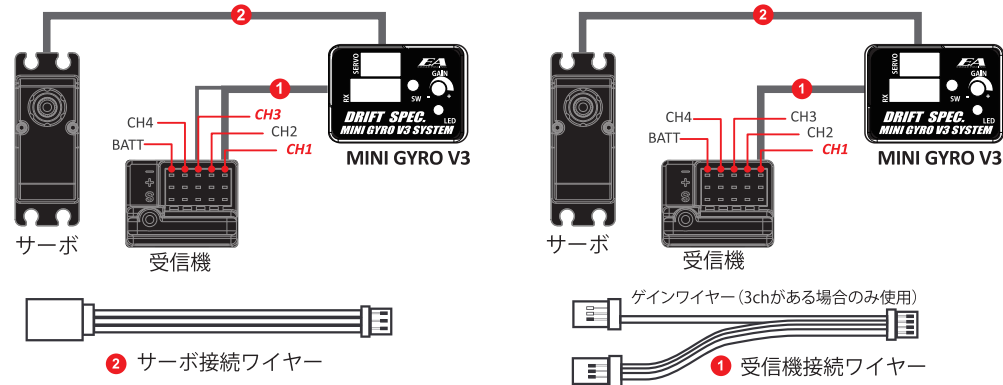
- ▶ リセット (サーボキレ角範囲)  
押しボタンスイッチを押した状態で受信機電源を入れ、EPA(キレ角範囲設定)モードに入ります。押しボタンスイッチを3秒間長押しすると、赤色と緑色のLEDが交互に5回点滅し、赤色のLEDが点滅して初期化され、ジャイロを使用する準備が整います。
- ▶ ジャイロ反応のリバース切替 (正転/逆転設定)  
通常の動作状態で、押しボタンスイッチを約4秒間押し続けると、黄緑色のLEDが低速で3回点滅し、ゲインを順方向または逆方向に切り替えます。戻りたい場合はもう一度同じ作業を繰り返してください。
- ▶ デュアルゲインモード設定 (ノーマルとAVCSモード)  
通常の動作状態で、押しボタンスイッチを素早く2回押し、紫色のLEDが低速で3回点滅すると、ノーマル/AVCSモードが切り替わります。戻りたい場合はもう一度同じ作業を繰り返してください。
- ▶ デジタル/アナログ切替  
このモード設定は自動的に識別されます。

**注意 : ノーマルモードはドリフト時にカウンターステアをあてる様な操縦になります。  
AVCSモードは、ドリフト中のジャイロからのカウンターステアが入る為、進行方向に舵を保つ様な操作になります。**

## 受信機の接続 (入力信号モード)

- ▶ PWM (50-333Hz)  
多くのRCプロポシステムに対応しており、CH3に感度調整ワイヤーを接続することで、送信機側(CH3)で感度を調整できます。(PIC1参照)  
感度調整ワイヤーを接続しない場合は、ジャイロ本体の中央にあるゲインボリュームにてゲイン調整を行うことができます。(PIC2参照)
- ▶ Futaba S.BUS2  
最新のFutaba S.BUS2およびS.BUSプロポシステムに対応しています。S.BUS2信号入力を使用する場合、感度調整ワイヤーを接続しないで、送信機側のCH3でゲイン調整を行うことができます。
- ▶ SANWA SSR / SANWA SHR  
SANWAのプロポシステムに最適です。SSR / SHR信号入力を使用する場合、出力信号はSSR / SHR信号に自動的に適応されます。

**REMARK** SANWA SSR 受信機入力にはSSR専用サーボをお使いください。対応していないサーボを繋げると機器が故障します。



PIC 1

PIC 2

## ゲイン調整

- ▶ 送信機のゲインチャンネル (CH3)を介してゲインを調整します。範囲は -100%~0~+100%。  
なお、S.BUS 信号入力を使用する場合、ゲインワイヤーを使用せずに送信機側の3チャンネルで感度調整が可能です。

**A** 0は感度ゼロを意味します

**B** -100% / +100%は最大感度です。

- ▶ レシーバーのCH3に感度調整ワイヤーを接続しない場合は、ジャイロ本体のゲインボリュームにてゲイン調整をします。

## NOTE

ジャイロは非常に小さいため、調整トリマやボタンスイッチも小型で繊細な部品です。無理な力を加えない様、付属のミニドリミングツールで設定操作を行ってください。S.BUS及びAVCSについて詳しくは、FutabaのWebサイト又は取扱説明書にてご確認ください。